

大会部報告

1. 大会名

- ◆第59回全道へき地複式教育研究大会
胆振大会
- ◆第60回全道へき地複式教育研究大会
上川プレ大会
- ◆第59回全国へき地教育研究大会広島大会

2. 胆振大会の概要

- (1) 【研究主題】
『主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましく
ふるさとを拓く子供の育成』
- (2) 【胆振大会スローガン】
『未来をたくましく生きぬく胆振の子らに
豊かな心と確かな学力を!!』
- (3) 【開催期日】
平成22年9月16日(木)～17日(金)

(4) 【大会内容】

- ◆ 16日(木) 全体会(苫小牧市文化会館)
 - ・ 開会式 基調報告
 - ・ 記念講演 講師 村木美幸氏
『アイヌ民族の世界観』
 - ・ 感謝状贈呈
 - ・ 次期開催地挨拶(上川大会実行委員長)
 - ・ 閉会式
- ※歓迎交流会 グランドホテルニュー王子(苫小牧市)

- ◆ 17日(金) 分科会会場3市6町9校9会場

(5) 【分科会会場校】

- ・ 第A分科会 豊浦町立大岸小学校
- ・ 第B分科会 壮瞥町立久保内小学校
- ・ 第C分科会 伊達市立関内小学校
- ・ 第D分科会 室蘭市立喜門袋小学校
- ・ 第E分科会 白老町立社台小学校
- ・ 第F分科会 苫小牧市立樽前小学校
- ・ 第G分科会 安平町立富岡小学校
- ・ 第H分科会 厚真町立軽舞小学校
- ・ 第I分科会 むかわ町立宮戸小学校

(6) 大会参加者数

- ① 分科会参加者数 505名
- ② 全体会参加者数 120名
- ③ 歓迎交流会参加者数 65名

3. 第60回全道へき地複式教育研究大会

【上川大会の概要】

- (1) 【研究主題】
『主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましく
ふるさとを拓く子供の育成』
- (2) 【上川大会スローガン】
『北の大地北海道で育つ子らに
培おう未来を切り開く力を』
- (3) 【開催期日】
平成23年10月13日(木)
平成23年10月14日(金)

(4) 【上川大会会場校一覧】

- ・ 第1分科会 名寄市立智恵文小学校
- ・ 第2分科会 士別市立多寄小学校
- ・ 第3分科会 士別市立多寄中学校
- ・ 第4分科会 旭川市立旭川第五小学校・
桜岡中学校
- ・ 第5分科会 東川町立東川第一小学校
- ・ 第6分科会 美瑛町立美進小学校
- ・ 第7分科会 中富良野町立西中小学校
- ・ 第8分科会 富良野市立鳥沼小学校
- ・ 第9分科会 富良野市立山部中学校

4. 第59回全国へき地教育研究大会

広島大会

【広島大会の概要】

- (1) 【全国研究主題】
『ふるさとでの学びを生かし、
新しい時代を築く心豊かな子どもの育成』
- (2) 【広島県研究主題】
『ふるさと広島での学びを生かし、新しい時代を築く
心豊かな子どもの育成』
- (3) 【大会スローガン】
『伝えよう 広めよう ふるさと広島
確かな学び 豊かな言葉』
- (4) 【開催期日】
平成22年10月21日(木)
平成22年10月22日(金)
- (5) 【分散会提言者】
学校・学級経営分野課題1 『教育計画の創造』
オホーツク管内 湧別町立開盛小学校
発表者 徳正 瑞恵 教諭

財政部報告

財政部長 名越 修彦

1. 平成22年度業務執行について



- (1) 会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画に従って執行しております。
- (2) 道へき・複連会費については、当初予算より納入額がやや増の決算となり、おかげさまで予算案通り執行してまいりました。
- (3) 全へき連会計については、各地区へき・複連のご努力により当初予算より多くご協力をいただきました。全へき連への負担金送付を終えております。
- (4) 刊行物の購読促進については、全へき連発行の「へき地・複式・小規模学校の実践事例集」のみの取り組みとなりました。各地区へき・複連においては発刊の趣旨をご理解賜り、ご協力いただいたことに感謝いたします。
ご協力、ありがとうございました。
- (5) 運営資金会計は、予算編成時よりも、昇任教頭1名増で、やや多い供出となりました。各地区へき・複連のご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。全へき連へは納入された金額の中で送金

しました。

2. 平成23年度の予算編成について

- (1) 学校の統廃合や学校規模の縮小に加え、昨年度へき地等級の見直しがなされ、厳しい情勢となることは必至です。予算編成の基礎資料として、3月末に各地区へき・複連の加入校数・教員数を調査し、収入予定額を把握した上で綿密な予算を編成します。各地区の担当者の皆様にはお手数をかけますがよろしくお願ひします。
- (2) 平成23年度の一般会計については、できる限り活動規模を縮小しないように、削減可能な項目を意識して予算編成し、平成23年度総会に提案します。
- (3) 現在執行中の旅費規定は、予算編成の作業の中で検討し、削減が必要な場合ご協力を願うことも予想されます。
- (4) 全へき連会計は、納入される負担金の範囲内で執行します。各地区へき・複連においては引き続きへき地教員の納入拡大への働きかけや、養護教員・事務職員の納入、および未加入校の加盟を促すようお願いいたします。
- (5) 刊行物会計については、平成23年度も、本道の実践も盛り込まれた全へき連の刊行物発行が予想されます。各地区へき・複連においては購読促進の取り組みをぜひお願いいたします。

平成22年度 一般会計執行状況

平成22年1月25日現在

【収入の部】

費目	22年度予算	1/25決算	増・減(△)
会費	4,064,640	4,112,316	47,676
繰越金	250,669	250,669	0
繰入金	700,000	700,000	0
雑収入	4,691	2,644	△2,047
合計	5,020,000	5,065,629	45,629

【支出の部】

費目	22年度予算	1/25決算	増・減(△)
研究大会費	510,000	510,000	0
研究調査費	2,140,000	1,653,022	486,978
研成刊行費	700,000	400,000	300,000
事務局費	1,670,000	1,500,131	169,869
合計	5,020,000	4,063,153	956,847

◇学校数 324校

【差引残高(1/25現在)】

◇教員数 1900名

5,065,629円 - 4,063,153円 = 1,002,476円

第60回全国へき地教育研究大会北海道大会
第60回全道へき地複式教育研究大会上川大会
の開催に向けて

上川へき地・複式教育研究連盟

事務局長 副島知子

はじめに

平成22年度は、「北の大地上川で育つ子らに培おう未来を拓く実力を」をスローガンに第60回全道へき地複式教育研究大会上川プレ大会を開催いたしました。また、本大会は16年ぶり5度目の北海道で開催される第60回全国へき地教育研究大会北海道大会の準備大会でもありました。

昨年9月24日から10月22日までの1か月間、4市3町9会場において、全道各地からお越しくださった約780名の先生方や関係者の皆様に公開授業をすることができました。また、午後の研究協議では参加者の皆様から、研究の深化・充実に向けて、貴重なご助言やご示唆をいただきました。心からお礼申し上げます。

さらに、本研究会開催にあたりまして、北海道教育庁上川教育局、上川管内市町村教育委員会、道へき・複連や関係団体の皆様、さらに、加盟校や運営にあたった分科会実行委員会の皆様の特段のご支援・ご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、上川へき地・複式教育研究連盟では、平成23年10月13日、14日に開催いたします第60回全国へき地教育研究大会北海道大会に向け、全へき連や道へき・複連の歩みを踏まえ、北海道らしさ、上川らしさを全国にむかって発信したいと考えております。そのため、明確な成果や課題の下、全組織をあげて研究推進に努めるとともに、きめ細かなスムーズな運営を心がけることが求められます。各関係団体の皆様には、今後とも一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 上川プレ大会の成果と課題

【成果】

- (1) 道へき・複連 第8次長期5か年研究推進計画との関連を図りながら、へき地・小規模・複式形態の三特性を生かした研究を推進できたこと。
- (2) 各会場校には、研究の積み重ねがあり、これま

での研究内容をもとに方針やねらいを確認しながら、研究を進めることができたこと。

- (3) 各市町によって、取組内容はさまざまであるが、各教育委員会や実行委員会の密接な連携によって、研究を推進することができたこと。

【課題】

- (1) 上川へき・複連としての研究の基本方針を統一し、会場校の研究の位置づけを明確にして、尚一層の研究の深化・充実に努めること。
- (2) 全へき連や道へき・複連および上へき・複連との連携を密にし、明確な役割分担のもと、きめ細かでスムーズな大会運営に努めること。
- (3) 組織的に会場校を支える分科会実行委員会のあり方を明確にし、研究に踏み込んだ支援に努めること。

2. 北海道大会の位置付け

第60回全国へき地教育研究大会北海道大会は、全へき連第7次長期5か年研究推進計画の3年次にあたります。研究主題は「ふるさとでの学びを生かし、新しい時代を築く心豊かな子どもの育成」となります。

全へき連や上川プレ大会の成果や課題を踏まえ、授業実践によって研究の検証をし、尚一層の研究の深化・充実に努めていきたいと考えております。そのことが、記念すべき第60回目の大会に全国・全道各地から来られる会員の皆様への「おもてなし」になるものと考えます。

第60回全国へき地教育研究大会北海道大会はスローガンを「北の大地北海道で育つ子らに培おう未来を拓く力を」とし、全体会はもとより、分散会、分科会の充実のために準備を進めてまいります。なお、全体会では、旭川の郊外に位置する旭山動物園の園長 坂東 元氏を講師に予定しており、動物の命と向き合うことから、人を育て、ひいては動物園を育てた興味深いお話が聞けるものと期待してください。

上川管内は北海道の屋根「大雪山系」を中心とした雄大な自然が織りなす北の大地であり、豊かな農産物の宝庫でもありますので、大会後、ご堪能いただければ幸いです。

第60回全国へき地教育研究大会北海道大会・第60回全道へき地複式教育研究大会上川大会に全国・全道各地から沢山の方においでいただくことを実行委員会一同心からお待ちしております。

第61回 全道へき地複式教育研究大会石狩プレ大会

● 研究主題

《主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを拓く子どもの育成》
 ～へき地・複式の特性を生かし、児童生徒一人ひとりに
 未来に生きる力を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～

● 「石狩大会スローガン」

『夢と希望を膨らませ、たくましく生きる石狩の子らに、豊かな心と確かな学力を！』

● 大会日程 A

8:30-	9:00-10:00	10:15-11:00	11:15-12:00	12:00-13:00	13:00-15:00	15:00-15:30
受付	開会式・研究発表	公開①	公開②	昼食	研究協議	閉会式

● 大会日程 B

8:30-	9:00-9:45	10:00-10:45	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-15:00	15:00-15:30
受付	公開①	公開②	開会式・研究発表	昼食	研究協議	閉会式

※会場によって時間帯に変更があります。

● プレ大会 会場校一覧

会場校名 開催期日	研究主題 ～副主題～	教科・領域 分野等
1. 石狩市立厚田小学校 9月30日(金)	「主体的に学習に取り組む子どもの育成」 ～国語科の「読む力」「伝え合う力」を高める指導の工夫を通して～	国語科 学習指導6・7
2. 石狩市立望来小学校 9月30日(金)	「主体的に考え、みんなで高め合う子どもの育成」 ～言語活動を通じた教科間の関連をめざして～	全教科 学習指導6・7
3. 当別町立弁華別小学校 9月30日(金)	「自ら学びを追究し、ともに高め合う子どもの育成」 ～一人ひとりの学びが生きる複式授業の構築～	国語科 学習指導5・6・7
4. 江別市立北光小学校 9月30日(金)	「伝え合う力を高め、自ら学び合う子どもの育成」 ～「話す力」「聞く力」を中心とした国語科の授業の創造～	国語科 学習指導6
5. 千歳市立支笏湖小学校 9月22日(木)	「自分の考えを持ち、 生き生きと表現できる児童の育成」 ～算数科における学習指導の工夫～	算数科 学習指導5・7
6. 千歳市立東小学校 9月22日(木)	「自ら考え共に学び、 意欲的に学習に取り組む子どもの育成」 ～思いや考えを伝え合う授業の創造～	算数科 学習指導6・7

石狩地区へき地・複式教育連盟

○委員長 若山 真(千歳市立東小学校) TEL (0123)21-3200
 ○事務局長 菊池 英一(石狩市立望来小学校) TEL (0133)77-2220

*第1次案内につきましては、5月上旬にお届けする予定です。